

相模原市感染症情報

2024年2月



今月の注目疾患：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

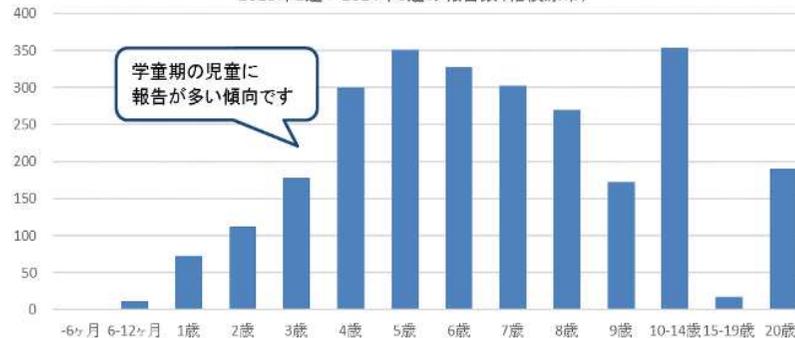
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はA群溶血性レンサ球菌を原因とする細菌感染症です。

冬季および春から初夏にかけて多発し、小児から成人まで、どの年代でも起こり得る感染症ですが、特に幼児から小学校低学年の年代で多く報告される傾向にあります。相模原市では今シーズンに過去最多を更新しており、注意が必要です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
2023年1週～2024年6週の報告数(相模原市)



主な症状

感染すると2～5日の潜伏期間を経て、突然の発熱、のどの痛みなどの症状が現れます。

次に、体や手足に小さくて紅い発疹が出たり、舌にイチゴのようなツブツブ（イチゴ舌）ができることがあります。



極めてまれに急速に多臓器不全を起こす致死率（約30%）の高い劇症型溶血性レンサ球菌感染症（STSS）を発症することがあります。小児～大人の広い年代、特に30歳以上に多いのが特徴で、あらゆる世代における感染対策が重要です。

感染経路



- ・咳やくしゃみによる飛沫感染
 - ・菌の付着した手指を介した接触感染
- ヒトとヒトとの接触機会が増加するときに感染しやすくなります。

～予防方法～

- ★咳エチケットや手洗い励行
- ★家庭内感染を防ぐために、タオルの共有を避ける
- ★早めに医療機関を受診する

【治療には抗菌薬が有効です！】

薬を飲み始めると2～3日で熱が下がり、のどの痛みもやわらぎますが、症状が治まっても医師の指示どおりに薬を最後まで飲むことが大切です。

★相模原市感染症情報センターでは、毎週感染症に関する情報を掲載しています



相模原市 感染症情報センター



発行：相模原市衛生研究所